

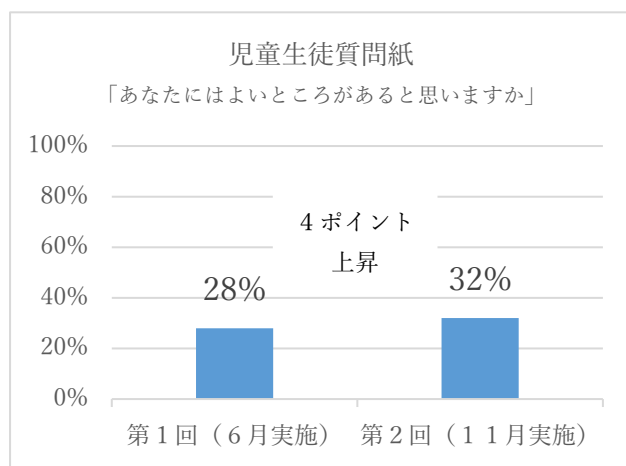
団体名 糸満市立潮平中学校	連絡先 TEL : 098-992-7575 Eメール : siocyu@shiohirac.city.itoman.okinawa.jp
-------------------------	--

1 実践事項 (②) タイトル: 「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づく授業改善の構築 ～学びの自立に向けた学習指導を通して～

2 実践内容

- (1) フォーカスシートを活用し、本校学力向上推進の一事徹底「聴く態度」を身に付けるための共通理解・共通実践を推進する。
- (2) 校内研修と学推の一事徹底の取組を関連させた授業実践を行う。「一人一授業三参観」を通して、職員相互の指導法の工夫・改善や共有化を図り、生徒一人ひとりを支援するための共通実践を図る。【組織的な関わり】
- (3) 生徒指導の視点（規範意識・自己存在感・共感的人間関係・自己決定）を生かし、学習規律を整えた生徒が安心して学習できる環境づくりに努める。
- (4) 学級や学年において支持的風土づくりの視点（安心・所属・承認・自立）を生かし、生徒の自己肯定感を高める取り組みを図る。【自己肯定感の高まり】

3 説明資料



資料1 児童生徒質問紙回答比較



資料2 共感的人間関係の構築
聞く態度の育成



資料3 規範意識

4 成果

- (1) 児童生徒質問紙(1)「あなたにはよいところがあると思いますか」の項目において、あてはまると回答した生徒の割合が28%から32%へ4ポイント増えた。また、県との差においても、-8ポイントから-7ポイントへ改善した。
- (2) 学力向上推進の一事徹底である「聴く力」の育成について職員間で共通理解・共通実践を行うことができた。また、学校評価アンケート(教師用)の結果、『一事徹底である「聴く力」の育成を意識した授業改善を日常的に取り組むことができた。』の質問について95%の職員が意識して取り組んだと回答が得られた。
- (3) 現3年生を児童生徒質問紙(1)(2)の質問を経年比較すると、「あてはまる」と回答する生徒の割合が増え、本校学校課題である自己肯定感の高まりに改善が見られる。

5 課題

- (1) 公開授業後の授業研究会に課題があるため、工夫・改善が必要である。
- (2) 児童生徒質問紙(8)「家で計画を立てて勉強していますか」の質問に、肯定的に回答した生徒(あてはまる、ややあてはまる)の割合が40%を下回っている。授業改善を軸とし自立した学習ができるような支援の工夫が必要である。